2025 年度

「複合領域コース」の履修の手引き

一　橋　大　学

目　　次

Ⅰ　制度の概要 1
Ⅱ　出願資格等 1
Ⅲ　出願手続き等 2
Ⅳ　単位認定及び学業成績 2
Ⅴ　コースの修了について 2
Ⅵ　複合領域コース出願の手続き 3
Ⅶ　複合領域コース様式 4-5
Ⅷ　各複合領域コースの概要（コースのねらい） 6
　1　海外協力コース 6
　2　総合生命科学コース 6-7
　3　生活空間研究コース 7
　4　科学技術と知的財産コース 7-8
　5　技術と経営コース 8
　6　文理総合コース 8-9
　7　医療・介護・経済コース 9
Ⅸ　一橋大学開講の各コース提供科目一覧表 10
　1　海外協力コース 10
　2　総合生命科学コース 11
　3　生活空間研究コース 12
　4　科学技術と知的財産コース 13
　5　技術と経営コース 14
　6　文理総合コース 14-15
　7　医療・介護・経済コース 16
Ⅹ　他大学又は他分野開講の各コース提供科目一覧表 17-28
Ⅺ　履修案内 29
　1　協定大学の所在地と問い合わせ先 29
　2　協定大学の時間割 30-31

Ⅰ　制度の概要

三大学（東京外国語大学、東京科学大学及び一橋大学）では、それぞれ独立を保ちつつ、研究教育の内容に応じて連携を図ることでこれまでの高等教育で達成できなかった新しい人材の育成と、学際領域、複合領域の更なる推進を図ることを目的に、それぞれの大学の特色ある授業科目を提供することにより、これまでの高等教育機関が育てることの出来なかった新しい人材を育成することを目指すこととしています。

この制度は、所属大学在学中に複合領域コースで定められた履修科目の所要単位を修得し、かつ卒業要件を満たした場合にコース修了を認定するものです。

Ⅱ　出願資格等

1　出願資格

２年次以上の学籍を有する者（進級見込みの学生を含む）。

（留学又は休学等により単位未修得な者、極端に取得単位が少ない者、成績が不良な者は除く。）

2　学生の身分

受入れ大学においては「特別聴講学生」となります。

3　授業料等

特別聴講学生としての検定料、入学料及び授業料は徴収しません。

4　履修提供科目

特別聴講学生が履修できる授業科目はコースごとに定められている講義科目とします。

（Ⅸ、Ⅹ各コースの提供科目一覧表参照）なお、授業内容の詳細については、授業科目の開講大学のシラバス等を参照してください。

5　履修計画

所属大学から協定大学までの通学時間を考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。

また、オンライン開講科目であっても、時間割（曜日・時限）が重複する科目については履修できません。各科目試験日の重複についてもご留意ください。

6　履修期間

履修期間は、履修する授業科目が開講されている授業期間とします。なお、複合領域コースの所属期間については、学部卒業資格を取得するまで延長されます。

7　受入れ条件

協定大学が受入れる学生の条件（履修できる授業科目の範囲、募集人数、受入れ学生数、各種日程等）については、協定大学が決定するので教務課まで問い合わせてください。

履修希望者は、必ずいずれかのコースに所属することとなります。

8　評価の方法

授業科目の評価（試験・レポート等）の方法については、協定大学の規則によります。

なお、協定大学と所属大学の試験日時が重複した場合には、事前に所属大学の担当係へ連絡して指示を受けてください。

9　協定大学の施設の利用

履修上必要な施設・設備（附属図書館、食堂等）を利用することができます。

Ⅲ　出願手続き等

「複合領域コース」の特別聴講学生を志願する学生は、所属する大学が定める所定の期間に手続きを行ってください。

1　出願方法・時期

出願は、所属する大学を通じて行います。出願者は、所定の期間に、所属大学及び協定大学が定める書類を提出してください。

本学の学生で出願を希望する者は、CELS 掲示板にて通知される募集要項等に従って、出願書類を作成してください。不明な点は教務課教務係（学務担当）にお問い合わせください。

出願に必要な書類は「複合領域コース（特別聴講学生）願書」です。

2　履修の可否及び通知時期

複合領域コースの他大学の科目を履修するためには、所定の期間に履修登録を行う必要があります。履修登録の詳細については、CELS 掲示板等でお知らせします。

本学の学生の場合、他大学の授業を履修したい場合には、本学で履修登録の手続きを行ってください。履修登録後、協定大学が定める方法により、履修の可否が決定されます。決定の通知は所属大学からされます。

注)コース設定の科目以外の履修は出来ません。

3　履修の辞退

他大学科目の履修の決定を受けた後で履修を辞退する場合は教務課教務係（学務担当）に連絡し、所定の手続きを行ってください。

Ⅳ　単位認定及び学業成績

1　単位認定

協定大学からの成績通知に基づき単位が授与されている授業科目について、所属大学の定める規定等により単位を認定します。

注）大学により成績発表時期が異なるため、他大学又は他分野の授業科目の単位については本学の進学・修了判定時期に算入が間に合わないことがあります。

＜本学の学生が他大学又は他分野の授業科目を修得した場合＞

国内外の他大学で修得したものとみなす単位数と合わせて、60 単位を超えない範囲で本学の「国内交流科目」として認定され、卒業要件の単位としては、自由選択科目の単位として扱います。

成績評価については、「E（合格）」と表記され、GPA 計算式には算入しません。履修科目登録上限制度（キャップ制）についても、該当しません。ただし、複合領域コース該当科目であっても本学の授業科目の場合は、履修科目登録上限制度（キャップ制）に該当します。

また、成績証明書には、授業科目の名称は協定大学の複合領域コースの開講授業科目名をそのまま記載し、括弧書きで相手先大学名を明記します。

2　証明書の発行

複合領域コースの履修科目の成績は、所属大学が発行する成績証明書又は単位取得証明書に記載されます。

Ⅴ　コースの修了について

コース所属者のうち、所属大学在学中に複合領域コースで定められた履修科目の所要単位を修得し、かつ卒業要件を満たした者には修了証を授与します。

本学の学生の場合、修了認定を受けるためには、修了認定申告が必要です。詳細は、CELS 掲示板の通知等でご確認ください。

Ⅵ　複合領域コース出願の手続き

本学の学生が協定校の授業科目を履修する場合

履修希望者
・　コースの選択
・　履修科目の決定
・　出願書類等

⇨ 教務課
とりまとめ

⇨ 所属学部の審査
コース担当教員

⇨ 協定校へ申請
出願書類等

⇨ 協定校の審査
審査委員会等

⇨ 審査の結果
承認の可否

⇨ 教務課
可否の受理

⇨ 履修希望者
可否の通知

⇨ 協定校で手続き
履修手続き等

他大学又は他分野の学生が本学の授業科目を履修する場合

履修希望者
・　コースの選択
・　履修科目の決定
・　出願書類等

⇨ 所属大学担当係
取りまとめ

⇨ 所属学部の審査
学科長
学科等の教員

⇨ 決定
可否

⇨ 所属大学
出願書類等提出

⇨ 本学に申請
教務課で受理

⇨ 本学で審査
担当学部等
で審査

⇨ 審査の結果
教授会で決定
承認の可否

⇨ 所属大学へ通知
可否の連絡

⇨ 履修希望者
可否の連絡

⇨ 本学で手続き
履修手続き等

Ⅶ　複合領域コース様式

（共通様式1）

複合領域コース（特別聴講学生）願書

一 橋 大 学 長　殿

（所属大学）

私は，複合領域コースの特別聴講学生として下記のとおり提供・開講科目を履修したいので，関係書類を添えて提出いたします。

なお，下記の個人情報の取扱いについては，利用目的等（下段参照）を確認の上，同意します。

フ リ ガ ナ		性 別	本 籍（外国籍の方は「外国籍」を選択）		写真貼付欄 写真は，たて4cmよこ3cmの大きさで，正面を向き，上半身，脱帽のもの（過去3ヶ月以内に撮影）を枠内に正しく貼って下さい。
氏　　名					
生 年 月 日					
学 籍 番 号					
現 住 所 等	〒 TEL:				
所属大学・学部・学科	一橋大学　　学部				
志望する協定大学・複合領域コース	複合領域コース：　　コース				
志願（出願）理由					

履修予定科目名等（1科目以上記入をすること）	授業科目名	担当教員	単位数

〔個人情報の取扱いについて〕

＊本申請書に記載される個人情報及び申請者の成績評価についての個人情報は，複合領域コースに参加する三大学（東京科学大学，東京外国語大学，一橋大学）において，複合領域コースを運営するために必要な次の利用目的に使用します。なお，利用目的達成のために，各大学間で相互に必要な情報の提供を行います。①複合領域コースに伴う3大学間（4分野）の単位互換協定に基づく，所属大学と協定大学間の派遣・受入手続業務②複合領域コース参加者（特別聴講学生）のための学籍管理業務（履修登録・成績評価・単位認定・学生証及び証明書発行等）③複合領域コース参加者管理のための業務及び複合領域コース修了認定のための業務

別紙様式

年　月　日

三大学連合「複合領域コース」の修了について（申請）

一橋大学長　殿

所属学部　　学年　　年
学籍番号
氏　名

（卒業後の連絡先）※　電話番号
一橋大学Gmail以外のメールアドレス

私は，下記の単位を修得したことにより，三大学連合「複合領域コース」の修了を申請します。

記

所属コース名	コース		所属年月	年　月
開講大学名	科 目 名	開講年度	単位数	備考

合計＿＿＿単位

【自大学（一橋大学）＿＿＿＿＿単位】　【東京科学大学理工学系分野　＿＿＿＿＿単位】
【東京外国語大学＿＿＿＿＿単位】　【東京科学大学医歯学系分野　＿＿＿＿＿単位】

※「卒業後の連絡先」について
他大学で履修した科目の成績が学位授与式後に届き修了証が発行される場合、卒業後に連絡させていただくことがあります。

Ⅷ　各複合領域コースの概要（コースのねらい）

◎3大学間（4分野）コース（東京外国語大学、東京科学大学（理工学系分野）、東京科学大学（医歯学系分野）、一橋大学）

1 海外協力コース

（1）コースのねらい、趣旨

21 世紀の海外協力（および技術開発）においては、海外に対する広い視野と見識及び卓越した専門技術を習得した人材が不可欠である。もとより、このような人材を育成する努力は各大学で行われているが、３大学（４分野）が協力することにより、さらに幅広い見識及び能力を有する人材を育成することを目的とする。

すなわち、各大学の多様なバックグラウンドを持つ学生が、本コースにより他分野の素養と海外に対する広い視野、見識を身につけ、グローバル化社会で活躍することを可能にする。

（2）開設科目

各コースの協定大学提供科目一覧表を参照のこと。

（3）実施要領

東京科学大学（理工学系分野）担当者：江頭竜一（融合理工学系）
東京科学大学（医歯学系分野）担当者：大橋健一（人体病理学分野）
一橋大担当者　：深澤一弘（森機構）
外語大担当者　：投野由紀夫（総合国際学研究院）
コース定員　　：若干名
コース修了要件単位数　：２０単位以上
　自大学又は自分野；１２単位
　他大学又は他分野；各大学２単位以上で合計８単位以上
　単位数（自－他－他－他）；１２-４-２-２、１２-３-３-２

◎2大学間（3分野）コース（東京科学大学（理工学系分野）、東京科学大学（医歯学系分野）、一橋大学）

2 総合生命科学コース

（1）コースのねらい、趣旨

人間は生物学的な存在であると同時に社会的な存在でもあることはいうまでもない。また、近年の生命科学の進歩は著しく、IPS 細胞を用いた再生医療の飛躍的な発展の可能性が開ける中で、生命科学と社会との関わりなど、広い視野をもつ人材が強く望まれている。また、科学技術の急速な発展と競争の激化の中で、科学者・技術者の倫理のあり方が重要な課題として浮上している。

本コースは、自然科学的な生命現象の基本とその応用、さらには人間の社会的存在を支える社会科学的な側面、特に法律的な側面ならびに言語・心理学的な側面について科目を配置したものである。基礎医学・生物学的な面からは、発生学・細胞生物学・分子生物学などに加えて、解剖学・生理学、あるいは脳の世紀を迎えて発展の著しい神経科学の成果を学ぶことができる。また、生命工学の視点からは、ゲノム情報・遺伝情報の基礎とその応用についての科目がある。これらを通じて、生物・生命について体系的な知識を養成することを目標とする。それらに加えて、医療と法律との関連について学ぶ。特に憲法・民法・刑法といった法律や生命倫理学からみた生殖医療などについての科目が配置されている。さらに、臨床医学の分野については、癌に関する基礎と臨床や法律との関連の深い救急医療などに関し学ぶ機会が与えられる。

本コースは、以上のような科目群により、医学・歯学・理学・工学・法学・社会学を横断する知識を有する人材の育成を図るものである。

（2）開設科目

各コースの協定大学提供科目一覧表を参照のこと。

（3）実施要領

東京科学大学（医歯学系分野）担当者：秋田恵一（臨床解剖学）

東京科学大学（理工学系分野）担当者：中村信大（生命理工学系）
一橋大担当者　：長塚真琴（法学部）
コース定員　　：若干名
単位数（自大学－他大学）：自大学又は自分野・他大学又は他分野を問わず、各大学又は各分野から最低４単位以上履修し、
計 20 単位以上｛(４－４－４)＋８｝

3 生活空間研究コース

（１）コースのねらい、趣旨

人類はその長い歴史の中で、様々な危険から自分たちの生命と財産を守るための生活空間を構築してきた。飢餓の恐怖から脱出したかに見える現代人はさらに一層の生活空間の快適化を求めているが、同時に現代文明の発達に伴い生成された副産物の逆作用の危険に直面してもいる。

日本の現状に目を向けるならば、国土の保全、都市の開発、住居の建築と維持管理、交通の計画と管理、衛生と健康の改善と管理など、生活空間の安全化と快適化に関与する経済活動や就業人口がきわめて膨大なものであり、私たちが、供給できる資金や人的エネルギーの相当大きな割合をそれらに振り向けていることは間違いない。しかしながら、残念なことに、私たちはそうした資金や人的エネルギーの投下量に見合った「安心」、「快適さ」、「満足感」を獲得しているとは言いにくい。複雑化し、高度化しつつある現代社会は専門家たちの専門領域を越えた協働を不可欠のものとしているし、そうした協働の基盤となる複合領域的な性格の知識、スキル、意志決定力をこれらの専門家たちが具備することが必要とされてきている。

例えば、物質的な自然の状況に加え、歴史、文化、産業、住民の健康、自治体の財政など地域社会の全体構造をふまえてもっとも望ましい開発計画を策定し、実行しうる土木技術者、といった存在はその一例であろう。

生活空間コースは、土木工学、衛生学、公共システムに関する経済学・経営学、地域・都市と人口・労働に関する社会学・経済学などの異なる専門領域の専門家の交流と協働により、安心、安全、快適な生活空間の創造に貢献しうる知識とスキルと決断力を持つ人材の育成を目指している。

（２）開設科目

各コースの協定大学提供科目一覧表を参照のこと。

（３）実施要領

東京科学大学（理工学系分野）担当者：真田純子（土木・環境工学系）、藤井学（土木・環境工学系）
東京科学大学（医歯学系分野）担当者：相田潤（歯科公衆衛生学分野）
一橋大担当者　：堂免隆浩（社会学部）
コース定員　　：若干名
単位数（自大学又は自分野－他大学又は他分野－他大学又は他分野）：１２－８－０、
１２－６－２、１２－４－４

◎2 大学間（2 分野）コース（東京科学大学（理工学系分野）、一橋大学）

4 科学技術と知的財産コース

（１）コースのねらい、趣旨

本コースは、受験上の文理選択を高校３年まで先送りし、東京科学大学（理工学系分野）受験も視野に入っていたような一橋生に向いている（もちろんその逆の東京科学大学（理工学系分野）生にも）。

企業や大学では、たいていは経済的・学術的な競争の必要に迫られて、日々無数の発明がなされている。目に見えない技術改良のアイディアである発明は、決まった書式に落とし込まれて、特許庁という官庁に出願され、審査と登録を経て特許になる。そして、特許された発明を特許権者以外の者が勝手に使うことは、特許法で禁止されている。出願書類を作って発明者と特許庁を橋渡しする仕事を繰り返しおこなうには、国家資格が必要である。その資格を有する者を弁理士という。

特許法や著作権法、商標法などをまとめて、知的財産法という。知的財産法はそれだけでは完結せず、憲法の下で民法などの様々な法律を含む法の体系の中にある。一方、特許は科学技術を、著作権は文化芸術を対象とする。いずれも、人類が長い年月をかけて築いてきた壮大な体系を有する。

これら３つのどれかをある程度理解するだけでも、４年ぐらいたちまち過ぎてしまう。まして２つ以上となると、容易ではない。

特許をはじめとする知的財産の仕事は、こうした参入障壁の高さゆえに、稀少性がある。とりわけ特許の仕事は、本質的に自然法則が相手で、人が決めた上下関係に左右されない美点をもっている。特許庁はいわゆるホワイト官庁として有名であり、弁理士にも魅力的な自由人が多い。

そこで本コースでは、弁理士、知的財産のわかる企業人、知的財産分野を専門とする法曹などを目指す学生に対して、必要な講義を開講する。しかし、ここが大学である以上、職業人養成だけを目的とするわけにはいかない。本コースで学ぶと、異なりつつ交錯する複数の学問体系に導かれて、そこから世の中を見るための足場ないし定点のようなものが、きっと得られるはずである。定点を得た後にどのような人生を選んでいくかは、学ぶ者にかかっている。

（２）開設科目

各コースの協定大学提供科目一覧表を参照のこと。

（３）実施要領

東京科学大学（理工学系分野）担当者：金子宏直（リベラルアーツ研究教育院）、
猪原健弘(リベラルアーツ研究教育院)

一橋大担当者　：長塚真琴（法学部）

コース定員　　：若干名

単位数（自大学又は自分野－他大学又は他分野）：１４－６

5 技術と経営コース

（１）コースのねらい、趣旨

科学技術の第１の役割として、経済社会基盤と新産業の創出が位置づけられているように、今日、ビジネスと密接な関係を持った科学技術が求められている。一方、IT 革命やヒトゲノム計画に代表されるように、ビジネスの側からも科学技術の全体像を見通せる人材の育成が求められている。

本コースは、数理、情報、システム、エンジニアリングといった理工系、と、マーケティング、流通、国際金融、会計といった経済・商学系の強みを活かし、ベンチャーに見られる新産業の創出を可能とする、21 世紀を担う人材の育成を目的としている。

（２）開設科目

商学部の開設科目は、学部導入科目の一部を除いて、原則として対象となる。ただし、200 番台の基礎科目は２年生以降、300 番台及び 400 番台の発展科目は３年生以降の学生のみ履修できる。また、学部導入科目のうち、対象学年が１年生である科目（導入ゼミナールⅠ、導入ゼミナールⅡ、）は、履修できない。対象学年が２年生である科目（前期ゼミナール（英書講読）Ⅰ、Ⅱ）については、当該受講学生が２年生の場合で４月から１年間継続して履修可能な場合にのみ履修することができる。一橋大学の後期ゼミは通常３年次・４年次の２年間にわたり履修しなければならないが、東京科学大学（理工学系分野）の学生が３年次終了時点で早期卒業する場合には、一橋大学の後期ゼミは３年次においてしか受講できない。早期卒業の可能性がある場合には、事前に志望するゼミの教員に連絡をとり、１年間のみの在籍が認められるかを確認しなければならない。

（３）実施要領

東京科学大学（理工学系分野）担当者：妹尾大（経営工学系）、永田京子（経営工学系）

一橋大担当者　：福地宏之（商学部）

コース定員　　：若干名

単位数（自大学又は自分野－他大学又は他分野）：８－１２

特記事項　　：東京科学大学（理工学系分野）生は一橋大のゼミに参加する。「他大学又は他分野での 12 単位以上履修」を最優先事項とする。

6 文理総合コース

（１）コースのねらい、趣旨

文系の一橋大学と理系の東京科学大学（理工学系分野）のメリットを生かし、一橋大生に東京科学大（理工学系分野）の主として数理系科目及び社会科学系科目を履修させるとともに、逆に東京科学大（理工学系分野）生には一橋大の文系の専門科目を履修させることにより、文理の総合的かつインターディシプリナリーな専門教育の機会を広げ、文理の垣根を越えた幅広い視野を持った人材を育成する。

（２）開設科目
各コースの協定大学提供科目一覧表を参照のこと。
（３）実施要領
東京科学大学（理工学系分野）担当者：大和毅彦（経営工学系）
一橋大担当者　：中山能力（経済学部）
コース定員　　：若干名
単位数（自大学又は自分野一他大学又は他分野）：１２－８

◎2 大学間（2 分野）コース（東京科学大学（医歯学系分野）、一橋大学）

7 医療・介護・経済コース

（１）コースのねらい、趣旨
社会科学の知見から 21 世紀にあるべき医療制度、医療介護システム、社会システム及び相互の関連について学ぶコースである。エビデンス（証拠）とロジック（理論）に基づき、高齢化社会における医療提供体制、医療費の在り方について学際的・政策的な学識、文理融合的な発想を持つ人材が求められている。
本コースでは医療、介護、福祉に必要な経済学、医学の基本について学び、多面的総合的な学識を併せ持つ人材を養成する。

（２）開設科目
各コースの協定大学提供科目一覧表を参照のこと。

（３）実施要領
東京科学大学（医歯学系分野）担当者：柏木聖代（ヘルスサービスリサーチ看護学）
一橋大担当者　：佐藤主光（経済学部）
コース定員　　：若干名
単位数（自大学又は自分野一他大学又は他分野）：１４－６

Ⅸ 一橋大学開講の各コース提供科目一覧表

科目一覧表に記載の情報は、2025年5月時点の情報です。開講曜日・開講時間・単位等詳細については、変更になることもあるので、科目詳細についてはCELS（https://cels.hit-u.ac.jp/）で必ず確認してください。

・★印のついたものはコースの推奨科目です。他大学又は他分野の学生の履修を推奨します。
・▲印のついたものは抽選対象科目であり、他大学又は他分野の学生は履修できません（2019年度より）。
　ただし、履修定員に空席があり、学部最終学年で、かつ今年度コース修了のため履修が必須である場合に、他大学又は他分野生の履修を認める事がありますので、一橋大学教務課教務係（学務担当）にメールでご相談ください。（edu-fukugou@ad.hit-u.ac.jp）。
・※印のついた科目は、3年次以上を対象とします。
・×印のついた科目は、旧科目を修得済の場合、重ねて修得することはできません。

1 海外協力コース（3大学間（4分野）コース ）

2025年度									
学部	科目名	担当教員	単位数	学期	曜日	時限	特記事項	開講形態	旧科目名
法	国際法総論Ⅰ	石塚　智佐	2	夏	火金	3		オンデマンド	
	国際組織法	立松　美也子	2	秋冬	月	2		対面授業	
	国際政治理論	大林　一広	2	夏	月木	2		対面・オンデマンド併用	
	国際安全保障	栗田　真広	2	秋	火金	1		オンデマンド	
	国際政治経済	山田　敦	2	冬	月木	4		対面授業	
	Japan and International Relations	秋山　信将	2	春夏	金	5	▲	対面授業	
	対外政策論	松本　太	2	秋冬	木	2		対面授業	
	International Organizations	中谷　純江	2	春夏	水	1		対面授業	
	Case Study on International History	2025年度休講							
	Case Study on International Political Economy	Flonk Daniëlle	2	春夏	火	4	▲	対面授業	
	日本外交史	クォン　ヨンソク	2	春	月木	3		対面授業	
	ヨーロッパ国際関係史	青野　利彦	2	春	月木	1		対面授業	
	アジア国際関係史	長谷川　隼人	2	秋冬	金	2		対面授業	
	冷戦史	青野　利彦	2	秋	月木	1		対面授業	
	中国外交史	隋　立国	2	春夏	金	3		対面授業	
	Case Study on International Security	助川　康	2	春夏	水	5		対面授業	
	国際紛争処理法	2025年度休講							
	EU法	中西　優美子	2	春	月木	3		対面授業	
	国際関係研究の方法	大林　一広	2	春	月木	2		対面・オンデマンド併用	
	国際関係史研究	2025年度休講							
	国際政治経済研究	中村　俊裕	2	夏	集中	-		対面授業	
	メディアと国際政治	佐藤　武嗣	2	秋冬	火	5		対面授業	
	危機管理論特殊問題	秋山　信将	2	春夏	火	5	▲	対面授業	
	アメリカ政治外交史	科目廃止							
社会	国際社会学A	飯尾　真貴子	2	春夏	月	3		対面授業	国際社会学ⅠA
	国際社会学ⅡA	科目廃止							

2 総合生命科学コース（3大学間（3分野）コース）

2025年度									
学部	科目名	担当教員	単位数	学期	曜日	時限	特記事項	開講形態	旧科目名
法	刑法（各論）	酒井　智之	4	秋冬	月	2	×	対面授業	刑法Ⅱ
	情報法	2025年度休講							
	生命科学と法A	磯部　哲	2	春夏	木	1	★	対面授業	生命科学と法Ⅰ
	生命科学と法B	2025年度休講					★×		生命科学と法Ⅱ
	民法（家族）	石綿　はる美	2	春夏	金	1		対面授業	
	民法（債権各論）	西垣　怜央	4	春夏	月	1		対面授業	
	テクノロジーとリーガル・イノベーション	2025年度休講							
	環境法	科目廃止							
社会	言語社会学特論A	佐野　彩	2	秋冬	火	1	※×	対面授業	言語社会学特論
	言語社会学特論B	2025年度休講					※×		言語社会学特論
	ことばと社会	大澤　麻里子	2	秋冬	月	5		対面授業	
	社会心理学Ⅰ（社会的分野）	2025年度休講							
	社会心理学Ⅱ（心理的分野）	前田　友吾	2	春夏	火	2	▲	対面授業	
	倫理学特論	吉沢　文武	2	冬	月木	1	★※×	オンデマンド	社会倫理学
	コミュニケーション論	科目廃止							
全学	環境政策と社会科学入門	科目廃止							

3 生活空間研究コース（2大学間（3分野）コース）

2025年度									
学部	科目名	担当教員	単位数	学期	曜日	時限	特記事項	開講形態	旧科目名
商	スポーツ・ビジネス論	中村　英仁	2	春	火金	3	※	対面授業	
	観光経営論（（社）日本観光振興協会寄附講義）	中村　英仁	2	秋冬	月	3	※	対面授業	
社会	Transnational Sociology: Global Issues	2025年度休講							
	社会階層論	数土　直紀	2	秋	火金	2		対面授業	
	社会学理論	多田　治	2	冬	月木	2		対面授業	
	社会の構造と変動C	2025年度休講					※		
	社会ネットワーク分析	佐藤　圭一	2	春	火金	2	※	対面授業	
	国際社会学A	飯尾　真貴子	2	春夏	月	3		対面授業	国際社会学ＩＡ
	社会調査法Ⅰ	朴　慧原	2	秋冬	水	3		対面授業	
	社会調査法Ⅱ	朴　慧原	2	秋冬	その他	その他		オンデマンド	
	地域研究A	上田　元	2	秋	その他	その他		オンデマンド	
	地域研究B	2025年度休講							
	社会開発論A	科目廃止							社会開発論A
	社会開発論B	科目廃止							社会開発論B
	人文地理学総論A	2025年度休講							地球社会の課題A
	人文地理学総論B	小泉　佑介	2	秋	その他	その他		オンデマンド	地球社会の課題B
	国際社会開発論A	2025年度休講							国際開発論A
	国際社会開発論B	小泉　佑介	2	春	その他	その他	※▲	オンデマンド	国際開発論B
	国際社会の課題A	科目廃止							
	生活保障論	猪飼　周平	2	春	月木	6		ライブ配信	
	社会政策特論	科目廃止							
	社会福祉	白瀬　由美香	2	冬	集中	-	※	対面授業	
	社会政策総論	白瀬　由美香	2	秋	火金	3		対面授業	
	雇用関係総論	西野　史子	2	冬	その他	その他		オンデマンド	
	都市・地域政策総論	堂免　隆浩	2	秋	その他	その他		オンデマンド	
	都市社会学	林　真人	2	冬	火金	3		対面授業	
	都市・地域政策特論	2025年度休講							
	日本史（社）（日本史総論A）	石居　人也	2	冬	火金	1		対面授業	日本社会思想論A
	ジェンダー／セクシュアリティとライフデザイン	神谷　悠一	2	秋冬	月	2		対面授業	
	都市のエスノグラフィ	2025年度休講					※		
	まちづくりとコミュニティ・ビジネス（NPO法人KF人間環境キーステーション寄附講義）	堂免　隆浩	2	秋冬	火	2		対面・オンデマンド併用	まちづくり（全学）
	国際社会学ⅡA	科目廃止							
全学	現代社会とスポーツA	笹生　心太	2	春夏	金	2		オンデマンド	

4 科学技術と知的財産コース（2大学間（2分野）コース）

2025年度									
学部	科目名	担当教員	単位数	学期	曜日	時限	特記事項	開講形態	旧科目名
商	イノベーション・マネジメント	吉岡（小林） 徹	2	春	火金	2	※	対面・オンデマンド併用	
法	会社法	酒井 太郎	4	春夏	月	1		オンデマンド	
	経済法Ⅰ	柳 武史	2	春	その他	その他		オンデマンド	経済法
	経済法Ⅱ	柳 武史	2	夏	その他	その他		オンデマンド	
	行政法（総論）	野口 貴公美	4	秋冬	火	3	×	対面・オンデマンド併用	行政法第一
	刑法（総論）	内海 朋子	4	春夏	火	2	×	対面授業	刑法Ⅰ
	刑法（各論）	酒井 智之	4	秋冬	月	2	×	対面授業	刑法Ⅱ
	憲法（総論・人権）	平良 小百合	4	秋冬	火	3	×	対面授業	憲法第一（人権）
	国際私法	竹下 啓介	4	秋冬	月	2		対面授業	
	国際法総論Ⅰ	石塚 智佐	2	夏	火金	3		オンデマンド	
	情報法	2025年度休講							
	特許法	2025年度休講					★		
	生命科学と法A	磯部 哲	2	春夏	木	1	×	対面授業	生命科学と法Ⅰ
	生命科学と法B	2025年度休講					×		生命科学と法Ⅱ
	知的財産法A	長塚 真琴	2	春	火金	1	★×	対面授業	知的財産法
	知的財産法B	長塚 真琴	2	夏	火金	1	★	対面授業	
	民事訴訟法	八木 敬二	4	春夏	月	3		対面授業	
	民法（債権各論）	西垣 怜央	4	春夏	月	1	★	対面授業	
	民法（債権総論・担保物権）	鳥山 泰志	4	秋冬	月	1		対面授業	
	民法（総則・物権）	石綿 はる美	4	秋冬	火	1	★	対面授業	
	中国法総論	2025年度休講							
	中国法各論	2025年度休講							
	英米公法	2025年度休講							
	英米私法	ジョン・ミドルトン	2	春	月木	4		対面授業	
	テクノロジーとリーガル・イノベーション	2025年度休講							

5 技術と経営コース（2大学間（2分野）コース ）

商学部の開設科目は、学部導入科目の一部を除いて、原則として対象となる。学部導入科目のうち、対象学年が1年生である科目（導入ゼミナールⅠ、導入ゼミナールⅡ）は、履修できない。対象学年が2年生である科目（前期ゼミナール（英書講読）Ⅰ、Ⅱ）については，当該受講学生が2年生の場合で4月から1年間継続して履修可能な場合にのみ履修することができる。

なお、他大学又は他分野生が一橋大学の後期ゼミ履修を希望する場合、自身で受講を希望する教員に連絡を取り、受講に許可をもらう必要があるので注意すること。一橋大学の後期ゼミは通常3年次・4年次の2年間にわたり履修しなければならないが、東京科学大学（理工学系分野）の学生が3年次終了時点で早期卒業する場合には、一橋大学の後期ゼミは3年次においてしか受講できない。早期卒業の可能性がある場合には、事前に志望するゼミの教員に連絡をとり、1年間のみの在籍が認められるかを確認しなければならない。なお、他大学又は他分野生は、抽選対象科目を履修することはできない。

6 文理総合コース（２大学間（２分野）コース）

2025年度									
学部	科目名	担当教員	単位数	学期	曜日	時限	特記事項	開講形態	旧科目名
商	金融数理論	畑　宏明	2	秋	火金	2	※	オンデマンド	
	組織経済分析	科目廃止							
経済	応用ゲーム理論	無藤　望	2	夏	火金	1		オンデマンド	
	基礎マクロ経済学	保里　俊介	4	春夏	その他	その他		オンデマンド	
	基礎マクロ経済学	保里　俊介	4	秋冬	その他	その他		オンデマンド	
	基礎ミクロ経済学	石丸　翔也	4	春夏	月木	2		オンデマンド	
	基礎ミクロ経済学	元橋 一輝	4	秋冬	月木	2		オンデマンド	
	基礎計量経済学	小池　孝明	4	春夏	火金	2		オンデマンド	
	基礎計量経済学	小池　孝明	4	秋冬	火金	2		オンデマンド	
	経済学入門	横尾　英史	2	春	月木	1		オンデマンド	
	経済学入門	竹内　幹	2	春	火金	2		対面授業	
	経済学入門	會田　剛史	2	秋	その他	その他		オンデマンド	
	経済計画論	宮城島　要	2	夏	火金	2		対面授業	
	経済システム論Ⅰ	宮城島　要	2	秋	火金	2		対面授業	
	経済数学Ⅰ	無藤　望	2	春	月木	3		対面授業	
	ゲーム理論Ⅰ	Hendrik Rommesv	2	秋	月木	3		対面授業	
	公共経済学Ⅰ	竹内　幹	2	夏	火金	1	×	対面授業	公共経済学
	公共経済学Ⅱ	2025年度休講					×		公共経済学
	国際経済学Ⅰ	黒石　悠介	2	夏	月木	2	×	対面授業	国際経済学
	国際経済学Ⅱ	2025年度休講					×		国際経済学
	財政学Ⅰ	佐藤　主光	2	秋	火金	1	×	対面授業	
	財政学Ⅱ	佐藤　主光	2	冬	火金	1	×	対面授業	財政学
	産業経済学Ⅰ	西村　淳一	2	春夏	水	6	▲×	ライブ配信	産業経済学
	産業経済学Ⅱ	2025年度休講					×		産業経済学
	上級国際経済学Ⅰ	2025年度休講					×		国際経済学Ⅰ
	上級産業経済学Ⅰ	2025年度休講					×		産業経済学Ⅰ
	上級マクロ経済学	高橋　悠太	4	春夏	火	3		対面・オンデマンド併用	
	上級ミクロ経済学	武岡　則男	4	春夏	月	2		対面授業	
	上級理論経済学Ⅰ	武岡　則男	2	秋	月木	2	×	対面授業	理論経済学Ⅰ

経済	マクロ経済学Ⅰ	寺本　和弘	2	冬	火金	3	×	対面授業	マクロ経済学
	マクロ経済学Ⅱ	2025年度休講					×		マクロ経済学
	ミクロ経済学Ⅰ	岸下　大樹	2	秋	月木	3	×	オンデマンド	ミクロ経済学
	ミクロ経済学Ⅱ	岸下　大樹	2	冬	月木	3	×	対面授業	
	金融工学概論	山田　俊皓	2	春	月木	3		対面授業	
	理論経済学	2025年度休講					×		現代理論経済学
	地域研究の方法	科目廃止							
	基礎経済数学	科目廃止							
	経済思想入門	科目廃止							
法	Case Study on International Political Economy	Flonk Danië lle	2	春夏	火	4	▲	対面授業	国際政治経済事例研究Ⅰ
	Case Study on International Security	助川　康	2	春夏	水	5		対面授業	国際安全保障事例研究Ⅱ
	International Organizations	中谷　純江	2	春夏	水	1		対面授業	
	会社法	酒井　太郎	4	春夏	月	1		オンデマンド	
	企業法務	小林　一郎	2	春夏	木	2		対面授業	
	経済法Ⅱ	柳　武史	2	夏	その他	その他		オンデマンド	経済法
	刑法（各論）	酒井　智之	4	秋冬	月	2	×	対面授業	刑法Ⅱ
	憲法（総論・人権）	平良　小百合	4	秋冬	火	3	×	対面授業	憲法第一（人権）
	憲法（統治機構）	江藤 祥平	2	夏	火金	3	×	対面授業	憲法第二（統治機構）
	国際安全保障	栗田　真広	2	秋	火金	1		オンデマンド	
	国際政治経済	山田　敦	2	冬	月木	4		対面授業	
	国際法総論Ⅰ	石塚　智佐	2	夏	火金	3		オンデマンド	
	日本外交史	クォン　ヨンソク	2	春	月木	3		対面授業	
	民法（債権各論）	西垣　怜央	4	春夏	月	1		対面授業	
	民法（総則・物権）	石綿　はる美	4	秋冬	火	1		対面授業	
	ヨーロッパ国際関係史	青野　利彦	2	春	月木	1		対面授業	
	手形法小切手法	科目廃止							
	Politics and Diplomacy in Southeast Asia	科目廃止							東南アジア政治外交論
社会	比較政治	田中　拓道	2	夏	火金	3	※	対面授業	
全学	計画数学Ⅱ	2025年度休講							

7 医療・介護・経済コース（2大学間（2分野）コース）

2025年度									
学部	科目名	担当教員	単位数	学期	曜日	時限	特記事項	開講形態	旧科目名
経済	医療管理政策論	2025年度休講					★		
	医療経済論Ⅰ	高久　玲音	2	春	火金	2	★▲	対面授業	
	医療経済論Ⅱ	井伊　雅子	2	秋冬	金	6	★	対面・ライブ配信併用	
	医療産業論	佐藤　主光	2	夏	金	6	★	対面・ライブ配信併用	
	医療保険論	佐藤　主光	2	春	火金	6	★	対面・ライブ配信併用	
	基礎計量経済学	小池　孝明	4	春夏	火金	2		オンデマンド	
	基礎計量経済学	小池　孝明	4	秋冬	火金	2		オンデマンド	
	基礎ミクロ経済学	石丸　翔也	4	春夏	月木	2		オンデマンド	
	基礎ミクロ経済学	元橋 一輝	4	秋冬	月木	2		オンデマンド	
	経済学入門	横尾　英史	2	春	月木	1		オンデマンド	
	経済学入門	竹内　幹	2	春	火金	2		対面授業	
	経済学入門	會田　剛史	2	秋	その他	その他		オンデマンド	
	健康増進政策論・医学総論	佐藤　主光	2	夏	集中	-	★	ライブ配信	
	財政学Ⅰ	佐藤　主光	2	秋	火金	1	★×	対面授業	財政学
	財政学Ⅱ	佐藤　主光	2	冬	火金	1	★×	対面授業	
	医療経済学セミナー	2025年度休講							
	公共政策論	2025年度休講							
	保健医療活動とリスク管理	佐藤　主光	2	冬	集中	-	★	ライブ配信	
	医療工学概論	佐藤　主光	2	夏	火金	6		ライブ配信	
	現代経済論B	2025年度休講							
	医療経済分析	2025年度休講							

【医療・介護・経済コース】注意事項

注1)「医療経済論Ⅱ」,「医療産業論」,「医療保険論」「医療工学概論」は対面授業とライブ配信授業を同時に実施し、受講形態を学生が選択する形式で開講される。内容についてはWebシラバスを確認すること。

注2)「健康増進政策論・医学総論」を履修する場合，東京科学大学（医歯学系分野）大学院MMAコースの講義「DPCデータ分析概論」ならびに「医療提供政策論」を重複して履修することができないので注意すること。

注3)「医療管理政策論」を履修する場合，東京科学大学（医歯学系分野）大学院MMAコースの講義「医療機能評価」ならびに「医療計画制度」を重複して履修することができないので注意すること。

注4)「保健医療活動とリスク管理」を履修する場合，東京科学大学（医歯学系分野）大学院MMAコースの講義「医療機関とリスク管理」ならびに「診療情報管理学」を重複して履修することができないので注意すること。

注5)平成28（2016）年度までに修得した全学共通教育科目「課題解決型イノベーションのための文理総合レゾナンス」の単位は、本コース修了要件の自大学又は自分野単位に含めることができる。

X　他大学又は他分野開講の各コース提供科目一覧表

他大学又は他分野開講科目の開講情報については、必ず各大学の Web シラバス等で確認してください。

＜東京外国語大学関係について＞

授業の詳細や開講曜日、開講時間については、以下の Web シラバス等で確認すること。
https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx

＜東京科学大学（医歯学系分野）関係＞

（1）特別聴講学生は講義のみ受講し、実習には参加しない。

（2）（全学科）は全学科共通自由科目、（医）は医学部医学科、（保・看）は医学部保健衛生学科看護学専攻、（保・検）は同学科検査技術学専攻、（歯）は歯学部歯学科、（口・衛）は歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻、（口・工）は歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻、（院）は大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻修士課程、（M）は大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻修士課程MMAコースの科目を表す。

（3）医学部医学科科目について
※印は演習・実習部分は受講できません。（講義のみです。）

（4）授業の詳細や開講曜日、開講時間、単位については、他大学複合領域コースの履修の手引き、Web シラバス等で確認すること。
《学部シラバス》http://www.tmd.ac.jp/campuslife/syllabus1/index.html
《大学院シラバス》http://www.tmd.ac.jp/campuslife/syllabus2/index.html
《複合領域コース案内》http://www.tmd.ac.jp/campuslife/union/index.html

＜東京科学大学（理工学系分野）関係について＞

各授業科目の詳細は、東京科学大（理工学系分野）複合領域コース HP 及び時間割表・シラバスで確認すること。

《複合領域コース案内》
https://www.titech.ac.jp/student/students/certificatecurrent/confederation/partner-information

《時間割表》http://www.titech.ac.jp/enrolled/life/undergraduate_timetables.html

《シラバス》http://www.ocw.titech.ac.jp/
※2025 年 4 月以降： https://www.syllabus.s.isct.ac.jp/

１．海外協力コース（３大学間（４分野）コース）

＜東京外国語大学＞

諸地域言語(ﾌｨﾘﾋﾟﾝ語 1) ﾌｨﾘﾋﾟﾝ語Ⅰ-3	諸地域言語(ﾌｨﾘﾋﾟﾝ語 2) ﾌｨﾘﾋﾟﾝ語Ⅰ-10	諸地域言語(ﾗｵｽ語 1) ラオス語 作文3	諸地域言語(ﾗｵｽ語 2) ラオス語 作文４
諸地域言語(ｳﾙﾄﾞｩｰ語 1) 「世界の屋根」の言語と文化	諸地域言語(ﾋﾝﾃﾞｨｰ語 1) ヒンディー語入門 1B	諸地域言語(ﾍﾞﾝｶﾞﾙ語 1) ベンガル語文法 a (J)	諸地域言語(ﾍﾞﾝｶﾞﾙ語 1) Conversation 1a
諸地域言語(ﾍﾞﾝｶﾞﾙ語 2) ベンガル語文法 b	諸地域言語(ﾍﾞﾝｶﾞﾙ語 2) Regional Languages A (Bengali Ⅰ-3)	諸地域言語(中央ｱｼﾞｱ諸語 2) 初級現代ウイグル語	諸地域言語(ｵｾｱﾆｱ諸語 1) 消滅の危機に瀕した太平洋の言語と文化(パプアニューギニア他)
古典言語 1 ラテン語初級 1	古典言語 1 ラテン語講読	古典言語 1 ギリシャ語初級の世界を知る Ⅰ	古典言語 1 ギリシャ語上級の世界を知る Ⅰ
古典言語 1 サンスクリット語 Ⅰ	古典言語 1 パーリ語	古典言語 2 ラテン語初級 2	古典言語 2 ギリシャ語初級の世界を知る Ⅱ
古典言語 2 ギリシャ語上級の世界を知る Ⅱ	古典言語 2 サンスクリット語 Ⅱ	ｱｼﾞｱの言語 1 アイヌ語 1	ｱｼﾞｱの言語 1 キルギス語の世界を知る
ｱｼﾞｱの言語 1 チベット語の世界を知る Ⅰ	ｱｼﾞｱの言語 1 タミル語とタミル文化	ｱｼﾞｱの言語 1 バローチー語とその民族文化	ｱｼﾞｱの言語 1 初級ヘブライ語文法
ｱｼﾞｱの言語 1 沖縄語初級Ⅰ	ｱｼﾞｱの言語 1 クルド語入門(ソーラーニー方言)	ｱｼﾞｱの言語 1 パシュトー語入門 ※1	ｱｼﾞｱの言語 1 東アルメニア語入門
ｱｼﾞｱの言語 1 フィジー語文法	ｱｼﾞｱの言語 1 トルクメン語の世界を知る	ｱｼﾞｱの言語 1 Japanese for beginners 2	ｱｼﾞｱの言語 1 Japanese for beginners 1
ｱｼﾞｱの言語 2 アイヌ語 2	ｱｼﾞｱの言語 2 沖縄語初級Ⅱ	ｱｼﾞｱの言語 2 チベット語の世界を知る Ⅱ	ｱｼﾞｱの言語 2 タミル語とタミル文化（2）
ｱｼﾞｱの言語 2 初級ヘブライ語文法	ｱｼﾞｱの言語 2 タタール語の世界を知る	ｱｼﾞｱの言語 2 パシュトー語初中級 ※1	ｵｾｱﾆｱ･ｱﾒﾘｶの言語 1 ハワイ語入門
ｵｾｱﾆｱ･ｱﾒﾘｶの言語 1 ハイダ族の言語と文化	ｵｾｱﾆｱ･ｱﾒﾘｶの言語 2 メソアメリカ諸語概説	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 ジョージア語（グルジア語）	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 アイスランド語(1)
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 フィンランド語の世界を知る	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 オランダ語の世界を知る Ⅰ	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 バスク語の世界を知る(1)(エチェパレ院寄付授業)	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 カタルーニャ語 Ⅰ（ラモン・リュイ院寄付授業）
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 初級ハンガリー語	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 ブルガリア語の世界を知る Ⅰ(駐日ブルガリア共和国大使館寄附授業)	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 アイルランド語	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 リトアニア語の世界を知る Ⅰ
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 スロヴェニア語 初級 2	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 スロヴェニア語 初級 1	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 ウラル語を学ぶ ～マリ語初級 1～	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 スロヴェニア語 中級

ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 実践スロヴェニア語	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 スロヴェニア語上級	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 現代ギリシア語	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 イディッシュ語
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 ルーマニア語の世界を知る Ⅰ（ルーマニア文化院寄付授業）	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 1 ウクライナ語初中級	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 アイスランド語（2）	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 オランダ語の世界を知る Ⅱ
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 バスク語の世界を知る（2）（エチェパレ院寄付授業）	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 カタルーニャ語Ⅱ（ラモン・リュイ院寄付授業）	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 ルーマニア語の世界を知るⅡ（ルーマニア文化院寄付授業）	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 ブルガリア語の世界を知る Ⅱ（駐日ブルガリア共和国大使館寄附授業）
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 ウクライナ語	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 リトアニア語の世界を知る Ⅱ	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 スロヴェニア語初級 2	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 スロヴェニア語初級 1
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 スロヴェニア語中級	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 ウラル語を学ぶ ～マリ語初級 2～	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 実践スロヴェニア語	ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 スロヴェニア語上級
ﾖｰﾛｯﾊﾟの言語 2 古代スラヴ語	ｱﾌﾘｶの言語 1 アムハラ語入門	ｱﾌﾘｶの言語 1 マダガスカル語	ｱﾌﾘｶの言語 2 アフリカーンス語入門
ｱﾌﾘｶの言語 2 マダガスカル語	ｱﾌﾘｶの言語 2 ウォライタ語研究	手話言語 日本手話 ※1	ｵｾｱﾆｱ・ｱﾒﾘｶの言語 1 トク・ピシン（1） ※3
ｵｾｱﾆｱ・ｱﾒﾘｶの言語 1 トク・ピシン（2） ※3	ｱｼﾞｱの言語 1 ノス・イ語（1） ※3	ｱｼﾞｱの言語 1 ノス・イ語（2） ※3	ｱﾌﾘｶの言語 1 スワヒリ語マクンドゥチ方言（1） ※3
ｱﾌﾘｶの言語 1 スワヒリ語マクンドゥチ方言（2） ※3			

※1 ハイフレックス（オンラインでの受講も可能）

※2 履修者が多い場合、受入決定後に授業内で選考を課す場合があります。選考に漏れた場合は履修できません。

※3 言語研修科目：開講科目（1）と（2）両方の履修申請が必要です。所属大学での単位互換制度の申請を行うとともに、事前のガイダンスへ出席することが履修の条件です。ガイダンスは、所属大学の単位互換制度の申請期限より前の日程で開催される場合があるのでご注意ください。詳細はシラバスおよび東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）HP で確認してください。

＜東京科学大学（医歯学系分野）＞

（全学科）

医療と AI･ビッグデータ入門	AI･データサイエンスのための数学
医療と AI･ビッグデータ応用 注：医療と AI･ビッグデータ入門を履修した者に限る。	

（医） ※演習･実習部分は受講不可。（講義のみ受講可。）

※生理学	※薬理学	※分子遺伝学	※感染･基礎
※病理学	※医動物学	※腫瘍学	※衛生学
※救急･麻酔			

（保･看）

解剖学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	生化学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
病理学 ※病理検査学講義の受講者は受講できない ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	国際保健看護学Ⅰ ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
国際保健看護学Ⅱ ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	看護制度論
人間の健康と看護	看護の統合と実践 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡
災害看護学 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡	

（保･検）

人体構造学講義	病理検査学講義Ⅰ
生化学講義（Ⅰ）	医用システム情報学講義（Ⅰ）
遺伝子･染色体検査学講義	臨床検査総合管理学 *病院見学はレポートで代替する
臨床病態学（Ⅰ）	臨床病態学（Ⅱ） *臨床病態学（Ⅰ）の履修を必要としない ※2025 年度の開講無し-2026 年度より4学年前期へ変更

（歯） 歯学科講義について、実習部分は履修不可。

生命を構成する分子とその代謝	遺伝の分子的基盤
細胞機能の分子的基盤	硬組織生化学の分子的基盤
デンタルエクスターンシップ	予防と健康管理
感染と生体防御（免疫学･細菌学）	System-based medical terminology Ⅰ
System-based medical terminology Ⅱ	

（口･工）

科学英語Ⅰ	科学英語Ⅱ
コミュニケーション学	グローバル口腔保健工学 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は履修不可
グローバル口腔保健工学実習 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は履修不可	ヘルスプロモーション 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は履修不可
高齢者歯科学	感染予防 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可

（院）

医歯学総合概論

（M）

ポストコロナ社会における感染症対策 ※2025 年度休講

＜東京科学大学（理工学系分野）＞

※○のついた授業科目は、本コースの推奨科目である。

情報理工学基礎１	2Q	移動現象工学(流動･伝熱)	1Q
情報理工学基礎２	3Q	化学工学2(分子拡散)	3Q
情報理工学基礎３	4Q	エネルギー操作	4Q
ロボット機構学	3Q	分離工学1(流体系)	3Q
コンピュータアーキテクチャ(電気電子)	3Q	分離工学2(固相系)	4Q
エレクトロニクスの基礎	2Q	河川工学	3Q
電力工学第一	2Q	○国際開発共創概論	2Q(英語開講)
電気学	2Q	○応用経済学概論	3Q(英語開講)
有機化学第一(アルカン)(応用化学)	1Q	○プロジェクトマネジメント	1Q(英語開講)
有機化学第二(アルケン)	1Q	○社会環境政策概論	3Q(英語開講)
有機化学第3(ベンゼン･C-O)	3Q	常微分方程式と物理現象	1Q(英語開講)
無機化学1(結合)	1Q	偏微分方程式と物理現象	2Q(英語開講)
無機化学2(構造･反応)	2Q	線形システム論	2Q
化学工学4(移動現象基礎)	4Q	統計とデータ解析	1Q

２．総合生命科学コース（２大学間（３分野）コース）

＜東京科学大学（医歯学系分野）＞

(全学科)

医療と AI･ビッグデータ入門	AI･データサイエンスのための数学
医療と AI･ビッグデータ応用(全学科) 注:医療と AI･ビッグデータ入門を履修した者に限る。	

(医)※演習･実習部分は受講不可。(講義のみ受講可。)

※人体構造総論	※人体解剖学	※細胞生物学	※生理学
※薬理学	※神経科学･基礎	※生化学	※神経解剖学
※免疫学	※病理学	※腫瘍学	※衛生学
※臨床医学導入	※循環器	※消化器	※骨･関節･脊椎
※救急･麻酔	※膠原病、総合診療・地域医療・東洋医学、皮膚・アレルギー（膠原病）		

(保･看)

解剖学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	生化学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
病理学 *病理検査学講義の受講者は受講できない ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	微生物学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
栄養学 ※対面と同期型があるので、看護学生に合わせた履修 評価は、試験(対面)とレポートの両方	看護制度論 ※レポートの他、小テストあり
人間の健康と看護	看護の統合と実践 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡
災害看護学 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡	

(保･検)

人体構造学講義	病理検査学講義(Ｉ)
血液検査学講義	生化学講義(Ｉ)
分析化学検査学Ｉ	医用ｼｽﾃﾑ情報学講義(Ｉ)

病原体検査学講義（Ⅰ）	遺伝子・染色体検査学講義
臨床検査総合管理学 *病院見学はレポートで代替する	臨床病態学（Ⅰ）
臨床病態学（Ⅱ） *臨床病態学（Ⅰ）の履修を必要としない ※2025 年度の開講無し-2026 年度より4学年前期へ変更	

（歯）歯学科講義について、実習部分は履修不可。

咀嚼と嚥下のバイオロジー	ことばの世界
オクルージョン	歯科と色
人体の構造と機能（神経系の機能 I）	人体の構造と機能（神経系の機能 II）
人体の構造と機能（生命維持のための生体機能）	人体の構造と機能（口腔生理）
遺伝の分子的基盤	細胞機能の分子的基盤
生命を構成する分子とその代謝	人体の構造と機能（組織学総論）
生命倫理	

（口・工）

人体の構造と機能 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可	口腔と全身の基礎医学 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可
周術期手術支援工学	歯科技工士と法律
医療倫理 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可	

（院）

人体形態学	口腔形態学	人体機能学	病理病態学
医歯学総合概論	生化学	薬理学	機能分子化学
免疫学	遺伝医学特論	神経疾患特論	

（M）

ポストコロナ社会における感染症対策 ※2025 年度休講

＜東京科学大学（理工学系分野）＞　※○のついた授業科目は、本コースの推奨科目である。

物理化学第一（生命の熱力学）	1Q	構造生物学	1Q
有機化学第一（アルカン，ハロアルカン）	1Q	生物有機化学	1Q
○生物化学第一	1Q	植物生理学	1Q
物理化学第二（生命の化学平衡，反応速度論）	2Q	遺伝子工学	1Q
有機化学第二（アルコール，アルケン）	2Q	生物物理化学	2Q
○分子生物学第一	2Q	医薬品化学	2Q
物理化学第三（分子軌道，相互作用，分光学）	3Q	動物生理学	2Q
有機化学第三（ベンゼン，ケトン）	3Q	微生物学	2Q
○分子生物学第二	3Q	基礎神経科学	1Q
有機化学第四（カルボニル化合物，アミン）	4Q	進化生物学	2Q
○生物化学第二	4Q	生命情報学 2	2Q
生命統計学	1Q	生命情報学 3	2Q
バイオ機器分析	3Q	細胞工学	2Q
発生生物学	3Q	生命倫理・法規	1Q
生命情報学	4Q	光合成科学	2Q
基礎生物無機化学	4Q	環境生物工学	2Q
遺伝学	4Q	酵素工学	1Q
生物化学工学	4Q		

３．生活空間研究コース（２大学間（３分野）コース）

＜東京科学大学（医歯学系分野）＞

（全学科）

医療と AI･ビッグデータ入門	AI･データサイエンスのための数学
医療と AI･ビッグデータ応用（全学科） 注：医療と AI･ビッグデータ入門を履修した者に限る。	

（医）※演習・実習部分は受講不可。（講義のみ受講可。）

※薬理学	※感染・基礎	※病理学	※医動物学
※腫瘍学	※衛生学	※救急・麻酔	

（保・看）

解剖学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	生化学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
微生物学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	産業保健学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
保健医療福祉制度論 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	看護制度論
人間の健康と看護	看護の統合と実践 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡
災害看護学 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡	

（保・検）

人体構造学講義	生化学講義（Ⅰ）
医用システム情報学講義（Ⅰ）	病原体検査学講義（Ⅰ）
遺伝子・染色体検査学講義	臨床検査総合管理学 ※病院見学はレポートで代替する
臨床病態学（Ⅰ）	臨床病態学（Ⅱ） *臨床病態学（Ⅰ）の履修を必要としない ※2025 年度の開講無し-2026 年度より4学年前期へ変更

（歯）歯学科講義について、実習部分は履修不可。

歯の硬組織疾患とその対応　概論	歯の硬組織疾患
保存修復治療の最新の臨床	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する
歯内治療の展開	歯科材料の科学
歯科材料の成形技術と臨床	歯学入門
歯科医療基礎Ⅰ	医療統計学・疫学基礎
歯科法医学	社会と環境
行動科学基礎	保存修復学 ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし
歯内治療学 ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし	予防と健康管理
生体と薬物（薬理学）	歯科材料と歯科医療機器（歯科理工学）

（口・衛）

栄養と代謝	公衆衛生学
社会保障	保健医療サービス
高齢者福祉	食生活教育
児童・家庭福祉	障害児・者福祉
地域福祉	コミュニケーション論
口腔保健と国際協力	

（口・工）

感染予防 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可	ヘルスプロモーション 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は履修不可
口腔保健工学管理学	う蝕と歯周病 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習1コマ履修不可
周術期手術支援工学	高齢者歯科学
デジタルデンティストリー基礎 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可	

（院）

環境社会医歯学	医歯学総合概論

（M）

ポストコロナ社会における感染症対策 ※2025 年度休講

＜東京科学大学（理工学系分野）＞※○のついた授業科目は、本コースの推奨科目である。

西洋建築史	4Q	インフラストラクチャーの都市計画	4Q
ランドスケープ	1Q	景観設計演習	4Q
住環境計画	4Q	気候変動の影響・適応・緩和	3Q
河川工学	3Q	コンクリート工学	3Q
地盤調査・施工学	4Q	○水環境工学	2Q
○土木計画学	1Q	測量学	4Q
○景観工学	3Q	○社会基盤と環境-概論	1Q
交通システム工学	1Q	社会基盤と環境－特別講義	3～4Q
公共経済学	2Q	○水・物質循環システム概論	4Q

4．科学技術と知的財産コース（２大学間（２分野）コース）

＜東京科学大学（理工学系分野）＞※○のついた授業科目は、本コースの推奨科目である。

「人文系ゼミ」「社会科学系ゼミ」 「融合系ゼミ」	1～2Q, 3～4Q	有機化学第二（アルケン）	1Q
法学（民事法・知的財産権）C	3Q	有機化学第3（ベンゼン・C-O）	3Q
意思決定論C	3Q	物理化学3（反応速度）	3Q
無機化学基礎	1Q	分子運動論	1Q
有機化学基礎	1Q	量子化学1（量子力学）	1Q
量子化学基礎	3Q	量子化学2（分子軌道）	2Q
化学熱力学基礎	3Q	高分子材料化学	4Q
情報リテラシ第一	1Q	計算基礎論	1Q
情報リテラシ第二	2Q	確率論・統計学	1Q
コンピュータサイエンス第一	3Q	オートマトンと形式言語	2Q
コンピュータサイエンス第二	4Q	論理回路理論	3Q
情報理工学基礎 1	2Q	情報論理	3Q
情報理工学基礎 2	3Q	アセンブリ言語	3Q
情報理工学基礎 3	4Q	人工知能	2Q
機械力学	3Q	最適化基礎	4Q
ロボット機構学	3Q	データベース	1Q
○モデリングと制御	1Q	コンピュータネットワーク	1Q
○機械系リテラシー	1Q	システム解析	2Q
○システム創造設計	1Q	パターン認識	2Q
線形制御理論	3Q	生命情報解析	2Q
○エレクトロニクスの基礎	2Q	数値計算法	1Q

○計算アルゴリズムとプログラミング	2Q	コンピュータアーキテクチャ	3Q
電気法規および施設管理	4Q	システムソフトウェア	3Q
一般機械工学	2Q	コンパイラ構成	2Q
通信理論(情報通信)	2Q	動的システム	3Q
代数系と符号理論	3Q	システム制御	4Q
通信方式	4Q	物理化学第一(生命の熱力学)	1Q
ネットワーク基礎理論	1Q	有機化学第一(アルカン, ハロアルカン)	1Q
オートマトンと言語(情報通信)	3Q	生物化学第一	1Q
感覚知覚システム	2Q	物理化学第二(生命の化学平衡, 反応速度論)	2Q
人工知能基礎(情報通信)	4Q	有機化学第二(アルコール, アルケン)	2Q
交流回路	1Q	○分子生物学第一	2Q
線形回路	2Q	物理化学第三(分子軌道, 相互作用, 分光学)	3Q
論理回路設計	3Q	有機化学第三(ベンゼン, ケトン)	3Q
計算機論理設計(情報通信)	4Q	○分子生物学第二	3Q
集積回路設計	1Q	有機化学第四(カルボニル化合物, アミン)	4Q
計算機アーキテクチャ(情報通信)	2Q	生物化学第二	4Q
線形電子回路	3Q	生命統計学	1Q
確率と統計(情報通信)	1Q	バイオ機器分析	3Q
離散構造とアルゴリズム	4Q	生命情報学	4Q
数理計画法	3Q	基礎生物無機化学	4Q
数値解析(情報通信)	4Q	遺伝学	4Q
プログラミング基礎(情報通信)	1Q	生物化学工学	4Q
プログラミング発展	2Q	構造生物学	1Q
信号とシステム解析	2Q	生物有機化学	1Q
ディジタル信号処理	3Q	植物生理学	1Q
関数解析と逆問題	1Q	遺伝子工学	1Q
○電気学	2Q	生物物理化学	2Q
材料量子力学	1Q	医薬品化学	2Q
材料熱力学	1Q	動物生理学	2Q
材料の熱的機械的性質	1Q	微生物学	2Q
セラミックス概論	2Q	基礎神経科学	1Q
統計力学(M)	3Q	進化生物学	2Q
有機化学(構造－I)	1Q	生命情報学３	2Q
有機化学(構造－II)	2Q	細胞工学	2Q
有機化学(反応)A	3Q	生命倫理・法規	1Q
有機化学(反応)B	4Q	光合成科学	2Q
電気化学(P)	1Q	環境生物工学	2Q
有機化学第一(アルカン)(応用化学)	1Q	酵素工学	1Q

５．技術と経営コース（２大学間（２分野）コース）

＜東京科学大学（理工学系分野）＞

線形制御理論	3Q	イノベーション論	1Q
エレクトロニクスの基礎	2Q	数理工学	3Q
人工知能基礎(情報通信)	4Q	品質管理	4Q
オペレーションズ・リサーチ基礎	4Q	データ収集・分析	3Q
オペレーションズ・リサーチ応用	1Q	マーケティング	2Q
工業心理学	3Q	経営戦略・組織論	2Q
経営情報システム	4Q	電気学	2Q
人間工学	1～2Q		

6．文理総合コース（２大学間（２分野）コース）

＜東京科学大学（理工学系分野）＞

基礎工業数学第一ａ	1Q	経営管理論	1Q
基礎工業数学第一ｂ	2Q	マーケティング	2Q
基礎工業数学第二ａ	3Q	確率論基礎	2Q
基礎工業数学第二ｂ	4Q	数理統計学	3Q
経営･経済のための基礎数理	1Q	数理最適化	1Q
経営･経済数学	2Q	マルコフ解析	2Q
数理工学	3Q	情報理論	3Q
経営･経済のための確率	1Q	分子生物学第一	2Q
経営･経済のための統計	2Q	分子生物学第二	3Q
オペレーションズ･リサーチ　基礎	4Q	バイオ機器分析	3Q
オペレーションズ･リサーチ応用	1Q	生物化学工学	4Q
ミクロ経済学第一	1Q	構造生物学	1Q
ミクロ経済学第二	4Q	生物有機化学	1Q
マクロ経済学第一	2Q	植物生理学	1Q
マクロ経済学第二	4Q	遺伝子工学	1Q
非協力ゲーム理論	2Q	動物生理学	2Q
計量経済学	1Q	微生物学	2Q
協力ゲーム理論	1Q	細胞工学	2Q
持続可能社会･経済論	1～2Q	生命倫理･法規	1Q
環境経済学	4Q	国土･都市計画論	4Q
経営･経済のためのデータ分析	2Q	システム数理基礎･演習	2Q
工業心理学	3Q		

7．医療・介護・経済コース（２大学間（２分野）コース）

＜東京科学大学（医歯学系分野）＞

（全学科）

医療と AI･ビッグデータ入門	AI･データサイエンスのための数学
医療と AI･ビッグデータ応用（全学科） 注：医療と AI･ビッグデータ入門を履修した者に限る。	

（医）※演習･実習部分は受講不可。（講義のみ受講可。）

※人体構造総論	※人体解剖学	※生理学	※薬理学
※感染･基礎	※病理学	※医動物学	※衛生学
※消化器	※救急･麻酔		

（保･看）

解剖学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	生化学 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
栄養学 ※対面と同期型があるので、看護学生に合わせた履修 評価は、試験（対面）とレポートの両方	憲法 ※評価はレポートと小テスト含む 履修が少ない場合は開講しない場合があります ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
国際保健看護学Ⅰ ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能	保健医療福祉制度論 ※東京科学大学医学部保健衛生学科看護学専攻に属する学生のみ履修可能
看護制度論 ※レポートの他、小テストあり	人間の健康と看護
看護の統合と実践 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡	災害看護学 ※オンライン受講を希望する場合は要事前連絡

（保・検）

人体構造学講義	生化学講義（Ⅰ）
医用システム情報学講義（Ⅰ）	遺伝子・染色体検査学講義
臨床検査総合管理学 ※病院見学は不可、レポートで代替する	臨床病態学（Ⅰ）
臨床病態学（Ⅱ） ※臨床病態学（Ⅰ）の履修を必要としない ※2025 年度の開講無し-2026 年度より4学年前期へ変更	AI 実践演習 ※履修条件:医療と AI ビックデータ入門を履修しているか同程度のリテラシーを備えていること ※東京科学大学医学部保健衛生学科検査技術学専攻に属する学生のみ履修可能
臨床病態学（Ⅱ） *臨床病態学（Ⅰ）の履修を必要としない ※2025 年度の開講無し-2026 年度より4学年前期へ変更	AI 実践演習 ※履修条件:医療と AI ビックデータ入門を履修しているか同程度のリテラシーを備えていること ※東京科学大学医学部保健衛生学科検査技術学専攻に属する学生のみ履修可能

（歯）歯学科講義について、実習部分は履修不可。

歯科法医学	有病高齢者の歯科治療
障害と歯科医療	歯科医療と麻酔
根拠に基づく歯科医療	総合診療・地域医療 ※2025 年度は科目提供なし
長寿口腔健康科学コース	社会と環境
行動科学基礎	予防と健康管理
多職種連携Ⅱ	隣接医学Ⅰ（内科等）
課題統合セミナー	高齢者歯科学 ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし
障害者歯科学 ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし	包括医療統合教育Ⅰ ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし
長寿口腔健康科学 ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし	多職種連携Ⅲ ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし
包括医療統合教育Ⅱ ※新カリキュラム科目のため 2025 年度開講なし	

（口・衛）

栄養と代謝	公衆衛生学
社会保障	保健医療サービス
高齢者福祉	食生活教育
児童・家庭福祉	障害児・者福祉
地域福祉	コミュニケーション論
口腔保健と国際協力	地域口腔保健論
在宅訪問・災害口腔保健医療	

（口・工）

人体の構造と機能 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可	口腔と全身の基礎医学 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可
硬組織薬理学 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は履修不可	デジタルデンティストリー基礎 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可
感染予防 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は実習履修不可	ヘルスプロモーション 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は履修不可
口腔保健工学管理学	周術期手術支援工学
臨床義歯管理工学 注：東京科学大学（医歯学系）学生以外は履修不可	高齢者歯科学

（院）

医歯学総合概論

（M）

医療提供政策論	医療データ分析概論
医療機関リスク管理	診療情報管理学
医療政策各論	医療機能評価
ポストコロナ社会における感染症対策 ※2025 年度休講	

XI　履修案内

1 協定大学の所在地と問い合わせ先

(1)東京外国語大学
東京都府中市朝日町 3-11-1
JR 中央線「武蔵境駅」のりかえ西武多摩川線「多磨駅」下車徒歩5分
京王電鉄「飛田給駅」北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車
（バスの本数が少ないので注意）
・学務部教務課　教務係：TEL 042-330-5168

(2)東京科学大学（医歯学系分野）
東京都文京区湯島 1-5-45
JR 中央線「御茶ノ水駅」下車徒歩5分
地下鉄丸の内線「御茶ノ水駅」下車徒歩2分
地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」下車徒歩5分

・医学教務グループ（医学科科目担当）　TEL 03-5803-5122
・保健衛生教務グループ（保健衛生学科科目担当）　TEL 03-5803-5119
・歯学教務グループ（歯学科科目担当）　TEL 03-5803-5411
・口腔保健教務グループ（口腔保健学科科目担当）TEL 03-5803-5104
・大学院教務第2グループ（修士課程科目担当）　TEL 03-5803-4534

千葉県市川市国府台 2-8-30
京成線国府台駅または JR 総武線市川駅下車
京成バス松 11 系統「松戸駅」または「松戸営業所」行きで約 10 分、
国府台病院下車
・国府台教務グループ（全学科共通科目担当）　TEL 047-300-7106

(3)東京科学大学（理工学系分野）
[大岡山キャンパス]
東京都目黒区大岡山 2-12-1
東急大井町線・目黒線「大岡山駅」下車徒歩1分

[すずかけ台キャンパス]
神奈川県横浜市緑区長津田町 4259
東急田園都市線「すずかけ台駅」下車徒歩5分
教務課三大学連合複合領域コース担当：℡ 045-924-5933
ホームページ：https://www.isct.ac.jp/ja

(4)一橋大学
東京都国立市中 2-1
JR 中央線「国立駅」南口下車徒歩 10 分
・学務部教務課教務係（学務担当）：042-580-8114（西キャンパス本館1階）

2 協定大学の時間割

※最新の情報については、各大学 HP を必ず確認してください。

(1)東京科学大学(医歯学系分野)

医学部医学科

1～3 年生科目

第１時限	8:50～10:20
第２時限	10:45～12:15
第３時限	13:30～15:00
第４時限	15:25～16:55
第５時限	17:15～18:45

4～6 年生科目

第１時限	9:00～10:20
第２時限	10:30～11:50
第３時限	12:50～14:10
第４時限	14:20～15:40
第５時限	15:50～17:10

医学部保健衛生学科(看護学専攻、検査技術学専攻)

第１時限	8:50～10:30
第２時限	10:45～12:25
第３時限	13:30～15:10
第４時限	15:25～17:05
第５時限	17:15～18:55

歯学部歯学科

1～3 年生科目

第１講	8:50～10:30
第２講	10:45～12:25
第３講	13:30～15:10
第４講	15:25～17:05
第５講	17:15～18:55

歯学部口腔保健学科

第１講１時限	8:50～ 9:35
第１講２時限	9:45～10:30
第２講３時限	10:45～11:30
第２講４時限	11:40～12:25
第３講５時限	13:30～14:15
第３講６時限	14:25～15:10
第４講７時限	15:25～16:10
第４講８時限	16:20～17:05
第５講９時限	17:15～18:00
第５講１０時限	18:10～18:55

歯学部歯学科

4～6 年生科目

第１時限	9:00～ 9:50
第２時限	10:00～10:50
第３時限	11:00～11:50
第４時限	12:00～12:50
第５時限	12:50～13:40
第６時限	13:50～14:40
第７時限	14:50～15:40
第８時限	15:50～16:40
第９時限	16:50～17:40

全学科共通科目

第１講	8:50～10:30
第２講	10:45～12:25
第３講	13:30～15:10
第４講	15:25～17:05
第５講	17:15～18:55

大学院医歯学総合研究科
（医歯理工保健学専攻）修士課程

第１時限	8:50～10:20
第２時限	10:45～12:15
第３時限	13:30～15:00
第４時限	15:25～16:55
第５時限	17:15～18:45

修士課程ＭＭＡコース

第１時限	18:00～19:30
第２時限	19:40～21:10

（2）東京外国語大学

第１時限	8:30～10:00
第２時限	10:10～11:40
第３時限	12:40～14:10
第４時限	14:20～15:50
第５時限	16:00～17:30
第６時限	17:40～19:10
第７時限	19:20～20:50

（3）東京科学大学（理工学系分野）

第１時限	8:50～9:40
第２時限	9:40～10:30
第３時限	10:45～11:35
第４時限	11:35～12:25
第５時限	13:45～14:35
第６時限	14:35～15:25
第７時限	15:40～16:30
第８時限	16:30～17:20
第９時限	17:30～18:20
第 10 時限	18:20～19:10